



2020年4月24日

各位

上場会社名 日本製罐株式会社
 代表者 代表取締役社長 馬場 敬太郎
 (コード番号 5905 東証第二部)
 問合せ先責任者 取締役経営企画部長 日野 剛健
 (TEL 048-665-1260)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月7日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日~2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,585	158	190	125	92.29
今回修正予想 (B)	10,144	41	97	63	46.88
増減額 (B-A)	△441	△117	△93	△62	
増減率 (%)	△4.2	△74.1	△48.9	△49.6	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	10,496	147	203	123	91.52

2020年3月期通期個別業績予想数値の修正(2019年4月1日~2020年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,029	167	116	85.65
今回修正予想 (B)	5,790	80	60	44.45
増減額 (B-A)	△239	△87	△56	
増減率 (%)	△4.0	△52.1	△48.3	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	6,068	169	111	82.59

(注) 当社は、2020年3月期第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行っており、2019年3月期については、当該表示方法の変更を遡及適用した組替え後の数値を記載しております。

修正の理由

ゴールデンウィーク・G20・盆休み等の稼働日減、夏場の長雨・台風被害・暖冬、消費税増税・食品ロス削減推進法等で売上が減少したこと、及びホワイト物流や働き方改革による運賃コストの増加、印刷費やラミネートフィルムの値上げのコスト増加の転嫁が不十分の為、利益を押し下げる結果となりました。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上